

## 議会改革に関する検討調査部会（第2回） 記録

日 時	平成22年11月12日（金） 午後3時30分～午後4時42分			
場 所	杉並区役所中棟4階 第2委員会室			
出席委員 （9名）	部 会 長	河津 利恵子	副部長	大槻 城一
	委 員	すぐろ 奈緒	委 員	はなし 俊郎
	委 員	原口 昭人	委 員	鈴木 信男
	委 員	大泉 時男	委 員	横山 えみ
	委 員	小川 宗次郎		
欠席委員	（なし）			
事務局職員	事 務 局 長	伊藤 重夫	事 務 局 次 長	佐野 宗昭
	事務局次長代理	高橋 正美	議会広報担当係長	井口 隆央
	調査担当係長	鈴木 真理子	議 事 係 長	依田 三男
	議 事 係 主 査	小坂 英樹		
議 題	1 第1回記録について 2 「議会だより」に関する検討・調査 3 次回の開催予定について			
発言要旨	別紙のとおり			

## 議会改革に関する検討調査部会（第2回） 発言要旨

発言者	発言内容
	（午後3時30分）
部会長	開会する。 今回から、ただいまご着席の委員会形式の席次をお願いをしたい。前回選出された大槻城一副部会長から、改めてごあいさつをお願いしたい。
副部会長	このたび副部会長の任をいただいた。微力ではあるが、部会長をお支えし、この検討調査部会の議事運営の円滑な進行に努めてまいりたい。ご協力のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。 （前回記録について）
部会長	事前に配付した前回の記録について、ご承認いただいてよろしいか。 （「はい。」の声） 本日から公開とする。 （「議会だより」に関する検討・調査）
部会長	本日の配付資料の確認をしたい。 区議会だより(第2回定例会)の主な紙面構成等について、「区議会だより(第2回定例会)の主な紙面構成等について」の集計、区議会だよりについて、「杉並区議会だより」平成22年第2回定例会号を配付した。資料について事務局から説明願う。
事務局次長	配付資料以外に、閲覧用として23区のことしの第2回定例会号を用意したので、順次供覧いただきたい。 まず「区議会だより(第2回定例会)の主な紙面構成等について」は、各区の区議会だよりがどのような形で編集、構成されているのかを一表にし、規格、色、ページ数、文字組み、代表質問、一般質問の有無、議案の審議結果一覧表での賛否を掲載しているかどうか、委員会の活動報告、議案の概要説明等の項目ごとにまとめたものである。 まず、規格については、杉並区を含む20区がタブロイド版で発行している。タブロイド版よりもやや小さ目の変形タブロイド版が3区。 次に、印刷の色については、1面と最終ページがカラーで、ほかは2色刷りの区が6区。1ページ目と最終ページがカラーで、ほかのページが単色が3区。1ページ目がカラーでほかのページが2色という区が1区。1ページ目、4ページ目、5ページ目、最終ページがカラー、ほかのページが2色の区が1区。全ページカラーが7区。全ページ2色が杉並区を含む4区。全ページ単色1区。 ページ数について、10ページが1区。8ページが12区、6ページが6区、4ページが杉並区を含む4区。 文字組みについては、8段の区が杉並区を含む5区。7段が8区、6段が6区、4段が2区。3段が1区、2段が1区。 文字の印刷方向は、縦書きの区が杉並区を含む20区、横書きの区が3区。 代表質問の掲載をしている区が杉並区を含む11区。そのうち質問者の顔写真を掲載している区が杉並区を含む6区、タイトルの見出しを掲載している区が8区、質問ごとの小見出しを掲載している区が9区、質問に関連する写真やイラストを配している区が9区。 一般質問についても、掲載ありが杉並区を含む21区。質問者の顔写真が13区、タイトル見出し8区、質問ごとの小見出し13区、質問に関連する写真、イラストが14区。

	<p>議案の賛否の状況については、会派別の賛否を掲出している区が杉並区を含む18区、議員別が1区。議案の概要説明の中で議案の会派別賛否を掲載している区が3区、議案の賛否の掲載をしていない区は1区。</p> <p>委員会の活動報告については、常任委員会を掲載している区が14区、特別委員会も掲載している区が13区。</p> <p>議案の概要説明については、議案の概要説明がある区が杉並区を含む12区。委員会の活動報告の中で記載をしている区が2区、議案の審議結果一覧表の中で説明している区が8区。</p> <p>次に杉並区議会だよりの規格等の沿革について、杉並区議会だよりは、昭和41年5月1日号が創刊号であり、当時の規格はB4判。昭和42年4月13日号からA4判に変わり、その後、B5判になった時期もある。昭和57年5月15日号から議案の審議結果一覧表を掲載することとした。また、昭和58年5月2日号からB4判となり、平成3年5月23日号から現在のタブロイド版になった。平成17年1月1日号から、代表質問・一般質問の質問者の顔写真と氏名、会派名を掲載することとした。</p> <p>次に、「区議会だよりについて」は、主に各区議会経費関係を中心に掲載している。ただ、発行部数がそれぞれの区で違うため、単純な金額上の比較はできないが、ご参考までに配付した。</p>
部会長	質問があれば。
A委員	質問議員が多い場合の調整はどうしているのか。
事務局次長	具体的な事例として、通常は第3回定例会も4ページであるが、ことしの第3回定例会で区長の所信表明と代表質問があったため、8ページの構成とした。第4回定例会は質問者が多いことが想定されるが、今のところ従前の4ページでおさめることができると見込んでいる。
B委員	4ページにこだわらず、発行時期ごとに臨機応変に考えられるものなのか。今回掲載する質問と答弁は2問ずつとする話もあるようだが、対応はできないのか。
事務局次長	当初の見込みでも、かなり質問者の数が多いため、場合によっては8ページあるいは6ページとすることも考えたが、中に1枚差し挟む印刷の工程が増える関係で、経費がさらにかかってしまうため、今回については、レイアウト上の工夫をして4ページで考えている。今後、質問者数が増えたり、質問の内容が非常に多いのであれば、必ずしも4ページにこだわるものではないが、予算上の措置との兼ね合いもあるので、その都度判断したいと考えている。
部会長	資料に対する質問は以上とし、検討に入りたい。
C委員	他区の発行物を見たが、今後高齢化社会で、活字も、7段や6段ぐらいの区は、ポイント数が随分違い、現在8段の杉並区と比較して見やすいと感じる。
	ページ数の問題もあるが、今の8段を例えば7段や6段にし、より多くの人に見やすい活字にするということが必要であり、多くの人に読んでもらえるまず一番の条件ではないか。質問人数が増えた場合、現在のサイズでもう1枚重ねるとすると、区広報と一緒に配布するのでなく、区議会だよりのみ独自に配布する方法も検討する必要があると思う。
部会長	検討するジャンルとして、色や文字の大きさ等の印刷の仕方、内容、配布体制の3つの項目に分類して議論を進めたい。
C委員	見出しの取り方で、全体で4行程度使い、2段で見出しと顔写真を載せている区があるが、とても見やすい。顔写真はやはりあったほうがいい。今の杉並区議会だよりは、合理的にたくさん入ってはいるが、ある面は活字がびっしりということになっている。見出しの行数を変え、他の行数は今と同じとすると、今の紙面では足りないということになるのではないか。
A委員	議会の広報としてはインターネット中継も実施されているが、高齢者世代は、ほとんどこうした紙

	<p>面で議会を理解していく方々が多いと思う。文字は大きく見やすく、カラーは非常にきれいだと思う。</p> <p>現在はどの程度の予算で発行しているのか。</p> <p>現在、4ページ2色刷り、印刷費の単価は2円余である。その他に新聞折り込み料、点字だよりの経費がある。仮に4ページのカラーにしても、それほど上がるわけではない。</p> <p>4ページ2色を8ページ2色にした場合、新聞折り込み料、点字だよりの経費も増え、大まかな数字として86万円程度の増となる。</p>
事務局次長	
C 委員	インターネット中継の費用と比較すると、それほどでもないと感じる。高齢者を含めて、そのくらいプラスになっても、高齢者を含めてより多くの方が見れるような方向であれば。
B 委員	初めて他区の紙面を見て、やはり文字の大きさの点で杉並区議会だよりは読みづらいので、もう少し改善していける点があると、C委員が発言したように、段組みが少し多いので、もう少し工夫をしてほしい。
A 委員	やはり議員は伝えたいと考える側なので、制限文字数の最大まで書く。そうした議員の思いも含めると、やはりページ数は少し増やしてもいい。
D 委員	<p>やはり議員は伝えたいと考える側なので、制限文字数の最大まで書く。そうした議員の思いも含めると、やはりページ数は少し増やしてもいい。</p> <p>渋谷区は質問の見出しがあり、こういう質問をしているということがわかる。杉並区議会だよりは字が多く、読み手が知っている議員であれば読むということになりやすいのではないかと。</p>
部会長	<p>やはりカラーのほうが、見てみたい気になる。文字がぎっしりで、あいているところがないと読みにくい。カラーであっても、文字ばかりであれば見にくいこともあるので難しい。</p> <p>まず見てもらう最初のきっかけ、ふと見てみようと思わせる感じを出すのは、今の杉並区のものではなかなか厳しい。言葉も少しかたかったり、文字そのものもかたい印象があるので、興味がある人しかなかなか読まないと感じた。イラストを入れている区は、やわらかい印象にはなるかなと思う。</p> <p>私の感想だが、例えば10月発行号で言えば、よく知っている区民の方は、議案の中身もわかるが、採決の結果については、つぶさにどの会派が賛成、反対なのか、あるいは1つ1つの条例改正等の意味は何なのかを知るのは大多数の方々にとっては大変難しい。結果は大変重要なものではあるが、1面に掲載されていても、多くの人に関心は持ってもらえないと思う。</p>
E 委員	一般質問の文字数は、質問と答弁で200文字で良いか。
議会広報担当係長	発行ごとに異なるが、1段組みは13文字の50行、650文字、この間は写真や名前、見出しも含めて、文字に換算すると650文字の1段のスペース。
E 委員	確かに、例えば議案の結果もそうだが、細か過ぎるところもある。他区を見ると、横でも縦でも色分けしてあり、非常に見やすい。委員会等の活動も載せてほしい。
F 委員	<p>他区の場合、杉並よりも文字が全体的に大きくなっている。以前に比べると、質問については杉並も大きくはなったが、もう一回りポイントを上げてほしい。そのためにはページ数も増やさなければならぬ。今の杉並は4ページだが、他区では、かなりのページ数を使っているということは、それなりに区民の注目を引いているから掲載していると思われる。</p> <p>紙質については、杉並のほうが手触りがやわらかい。</p> <p>カラーについても、区によっては発言自体もカラーにしているが、やや見にくい感じもする。カラーもいいが、質問と答弁のように対比するような部分は、2色の杉並がちょうどいいぐらいと感じた。</p> <p>一番肝心なのは、議案等の審議結果について、ほかの地域では概要について杉並よりも詳しく説明している。杉並の場合は中身がわからないのが現実であり、概要説明があったほうが読み手にわかりやすい。</p>

	<p>委員会の報告については、委員会でどのような質疑があったのかは本会議で概略が報告されているので、だよりも載せたほうがいい。</p> <p>請願・陳情の審議結果についても、請願・陳情の内容を含めて、港区が細かく載せているので、参考になる。</p> <p>他区の議会だよりについては全議員に目を通してもらい、意見をもらうのがよいと思う。</p>
副 部 会 長	<p>区民の方からよくお聞きするのは、区広報と一緒に新聞折り込みに入っているので議会報も見ると、これはいいことだと思う。広報には大事な情報が載っているということは区民の方々には周知をされてきているので、同時配付がやはりいい。今回資料の区議会だよりを見ると、デザイナーもやりようがないくらい目いっぱい入っている状況を見ると、紙面が足りないということが周知の事実なのではないか。紙面を増やし、イラストも文字も大きくしていただいたほうがいい。現在、紙面のデザイナーはかかわっているのか。</p>
事務局次長	<p>議会事務局の議会広報担当係長がしており、専用のデザイナーにはお願いしていない。</p>
G 委 員	<p>発行する以上は効果がなければ意味がないと思うが、区民のどれだけの方たちが関心をお持ちかという調査はしたことがあるか。</p>
事 務 局 長	<p>以前設置されていた広報委員会が、アンケートを実施したことがあるやには聞いている。</p>
G 委 員	<p>今後は、成果をきちんと測るような方法を考えていくことも大切になる。その上でカラーを使えば一番いいのだろうが、費用対効果の問題もあり、よく検討した形で進めていくことが必要だと思う。</p>
部 会 長	<p>例えば「広報すぎなみ」と一緒にアンケートを実施したりする等、調査は必要だと思う。どのような受けとめ方をされているのか、モニター制度等意見の聞き方は幾つかあるうし、どれだけ読まれているのかは視野に入れる必要がある。</p>
H 委 員	<p>委員会での議論のポイントは掲載したほうがいい。杉並は議案の審査結果が会派ごととなっているが、1人1人が選ばれて議員になっているので、本来1人1人の議員がどう活動しているかが明らかになったほうがいいと思うので、議員別の賛成、反対がわかったほうがいい。会派内で意見が分かれることもあるので、だれがどこの会派かということもわかったほうがよい。</p>
G 委 員	<p>議会運営は現在会派中心なので、議員別の賛否は、今の状況ではそぐわないのではないかと。</p>
A 委 員	<p>杉並の場合は会派別に結果が出ている。1人1人の活動という意味では、一般質問でも十分表現できているとは思う。</p>
H 委 員	<p>現在、会派の中で分けられるときは という形で表現されており、議員名は表示されていない。</p>
事 務 局 長	<p>会派の中のどなたが賛成なのか反対なのかは、それを見ただけではわからない。</p>
A 委 員	<p>それを紙面で表現する必要があるかどうかについて、必要はないと考える。</p>
部 会 長	<p>H委員が提起された件については、今回の部会で深めるのは厳しいのではないかと。ご意見としてこういった意見があったというのは受けとめておきたい。</p>
事 務 局 長	<p>これまでの検討調査部会もそうだが、一応多論併記という形になるので、今の例でいけば、現行どおり会派ごとの表示でいいという意見が大勢を占めた。ただ、一部の委員からは、会派ではなく議員個人の表決の結果を掲載すべきだという意見もあったというまための仕方になる。</p>
H 委 員	<p>本日は、どんな課題があるのかを中心に議論していただいているので、ざっくりばらんなご意見を出していただいたほうがよろしいのではないかと考える。</p>
H 委 員	<p>時間がないのはやむを得ないが、1人1人が自分の名前で当選してきている以上、議案に対する賛否を示すのは大事なことだと思う。名前を伏せたほうがいいという意味がわからない。改革部会の中で、この先議論していきたいとは考えている。</p>

C 委員	<p>1人1人が当選してくるが、その当選した人が議会の中で会派を組むという、その意味がどうなのかということになる。いわゆる比例代表として当選をしてきていないことは確かである。しかし、その上に立って、議会のいろいろな問題に対応するときに、会派をつくって、それで会派としてさまざまな行動をするということの意味が、鋭く問われる。会派を組んでも、例えばある党の中で、私は賛成だった、別の議員はどうだったと、そうする必要がどこまであるかといえば、やはりない。</p> <p>1人1人の意見が議案によって分かれるようなことであれば、それは会派を組む必要はない。あるいは、賛成したら同じ会派かといえば、これも違う。</p>
H 委員	<p>通常は会派構成員の賛否は一緒だが、時々そうでないこともあるので、表明する場があってほしい。実際、千代田区や三多摩地域でも載せているところもあるので、今後ぜひ考えていただきたい。</p>
C 委員	<p>毎回1人1人のことを議案にかかわって個別に載せることが必要なかどうかは意見があるところではないか。</p> <p>ただ、現行の会派表示のままであっても、同一会派で異なる意見があった場合には、その議員が誰なのかを議会だよりに表示せずともわかればそれで済むことだと思う。</p>
F 委員	<p>きょうの段階では、ほかの区の広報も初めて見て、その中で感想や意見を述べている段階なので、さまざまな意見に対しての反論はまた改めて行い、きょうは皆さんからこうとことが提起されたというところでもいいのではないか。</p>
部 会 長	<p>他区の議会広報は、委員以外の議員も事務局でご覧んいただける。賛否の表現の仕方についても、各会派で、本日は持ち帰っていただくこととしたい。</p>
C 委員	<p>今は担当者が1人で作成している中で、これまでの慣例に沿いながらやられていると思う。各会派で少し深めてもらうということによいのではないか。</p>
部 会 長	<p>版下制作等の委託については、資料によると、専門家に依頼している区は6区ほどある。そのほかはおそらく事務局の広報担当と思われる。</p>
C 委員 事務局次長	<p>発行は他区も定例会ごとか。</p> <p>基本的には定例会ごとであるが、臨時会については区によって分かれている。</p> <p>本日いろいろなご意見をいただいたが、多岐なジャンルにわたっているので、事務局で一度これを整理してまとめた資料を委員の皆様にお配りし、それをもとにそれぞれ会派等々でご議論いただき、次回にご議論の結果をお寄せいただければと考えているが、いかがか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
部 会 長	<p>文字のポイントを大きくして見やすくという点は、全委員が一致したと思われる。紙面は、ページ建てが何ページが良いかは別として、ページ数は増やしたほうがいいという点でも一致したので、この二点はもう議論から外しても良いと思う。6ページなのか8ページなのかは、予算の関係もあるので、事務局で整理をしてもらい、その上で会派の中で意見交換をお願いしたい。</p> <p>(次回の開催予定について)</p>
部 会 長	<p>本日の会議はこれで閉じる。</p> <p style="text-align: right;">(午後4時42分)</p>